

ごみ処理施設 特別委員会を設置

議論 白熱

北アルプス広域連合が進めている、飯森地区に計画中的ごみ処理施設建設に係る案件の審査のために特別委員会を設置しました。

【北アルプス広域連合 新
ごみ処理施設建設計画白
紙撤回を求める陳情書】

深空南村有志から提出され
た陳情書です。

問 観光地として、ごみ処理は避けて通れません。今ある八方の施設でも改善されていると思います。大気汚染があるということですが、八方も含め周辺の住民はどうなるのですか。公害に関するデータを説明してほしいと思います。

答 基準はクリアしていると思います。新施設は八方の施設より、排ガスの中の汚染物質は少ないし、他施設の実績もあります。その影響は、環境アセスの中で説明されると思います。焼却場周辺へのデータ提供はされています。新施設もそうですが、全国的にも行われています。

採択に賛成
○いこいの杜（グリーンズポーツ）を心配することは理解できません。田畑の公害問題については、専門家の意見を聞くべきだと思います。

○様々な問題点が出されています。大気汚染、農作物汚染等に対する説明がされていないため、陳情書が提出されたと思います。排ガスの数字は、クリアして当たり前です。数値でないものが風評被害であり、難しい問題です。全国各地で風評被害があり、汚染についてもっと検討すべきです。

採択に反対

○いこいの杜の土地を貸せないとの話があります。「他の場所へ建設するのなら良い」とも理解できません。しかし、深空だけ被害がなければ良いという問題ではなく、ダイオキシンで被害が出たということも聞いたこともありません。

○文章から察すると、圧力をかけるような内容です。いこいの杜賃貸契約と交換案件の陳情がまかり通るのをおかしいと思います。

継続審査に賛成

○村民の理解なくして政治はありえません。継続審査とすべきです。しかし、白紙撤回には反対です。

【北アルプス広域連合が計画している新ごみ処理施設建設計画を白紙撤回し、学識経験者、住民代表を含めた「ごみ問題特別委員会（仮称）の設置を求める陳情書】

問 用地選定は、民間も入れた選定委員会という提言があったと思いますが、用地選定委員会に入れなかった経過を説明してください。

答 私たちの就任以前のことです。他市町村では、選定委員が攻撃の対象にされた事例もあり、このため、地域を良く知る市村職員で選定委員会を組織してもらいました。

採択に賛成

○選定過程に問題があると思えます。村民不在という大きな欠陥により今日の混乱があります。白紙撤回の意味は、膠着状態が続いており一から選定も含め計画を作るということです。

○広域の基本計画に従って計画を進めてきたのか疑問です。住民の多くが不信感を

持っていると思います。

○「広域で決めた」という発言が多く出されています。広域化が良いということは知っています。白馬が候補地に選定され、問題が発生し署名活動までに発展しました。広域は住民に遠い存在であり、住民は何もいえないということですか。

○基本計画までは、納得、理解していますが、問題はその後の用地選定の方法にあります。

○住民にしっかりと説明会を開き、住民に結論を出してもらわなければなりません。

採択に反対

○活断層の問題でも50m離せば安全という理由が説明できていません。白馬村の場合、活断層を語りだせば、建設場所がなくなります。

○白紙撤回をするということは、広域を否定することになります。白馬村の事情で白紙撤回では、村内に建設出来なくなります。村内で選定をやり直すべきです。

○広域で建設することを村民